

「まん延防止等重点措置」調整の実態は？



「今月6日が期限となる31都道府県のまん延防止等重点措置をめぐり、岸田総理大臣は3日夜、記者会見で、18都道府県で今月21日まで延長し、13の県は解除する方針を明らかにしました。」 2022年3月3日 20時18分NHK配信

飲食店対策を主とする「まん防」自体の感染流行抑制効果に対する懐疑論、批判に関しては別に議論する事として、第144報では今回令和4年3月7日からの調整の実態についてまとめてみました。

まん延防止等重点措置 延長の方向で調整



①グループ：2022/3/21まで「まん防」を延長するのは上図の18都道府県

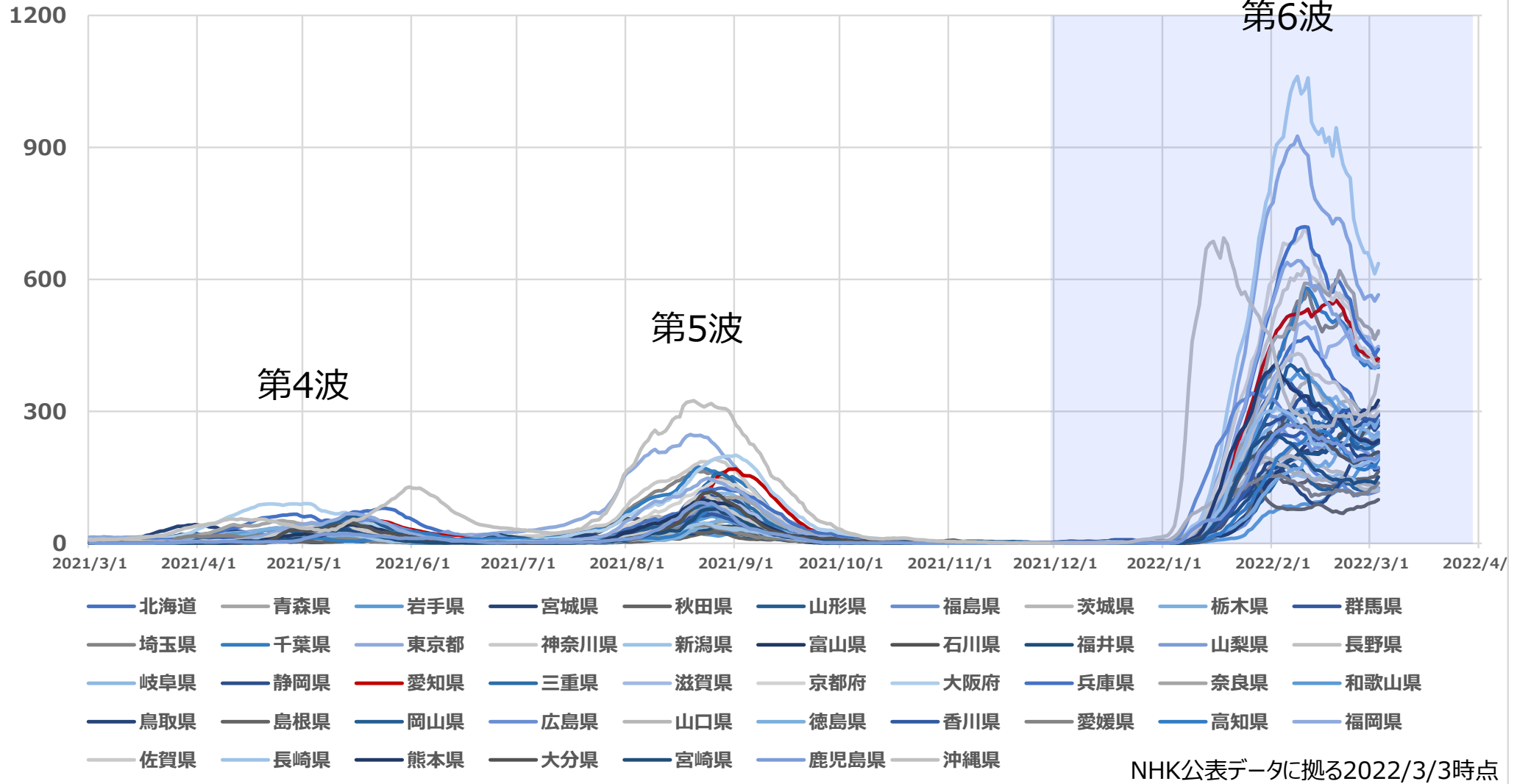
②グループ：2021/3/6で解除するのは福島、新潟、長野、三重、和歌山、岡山、広島、高知、福岡、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島島の13県

③グループ：2022/2/20で既に解除した山形、島根、山口、大分、沖縄の5県

④グループ：第140報でレポートした「まん防」を適用しなかった秋田、岩手、宮城、山梨、富山、福井、滋賀、奈良、鳥取、徳島、愛媛の11県

の4つのグループに分けて検討してみました。

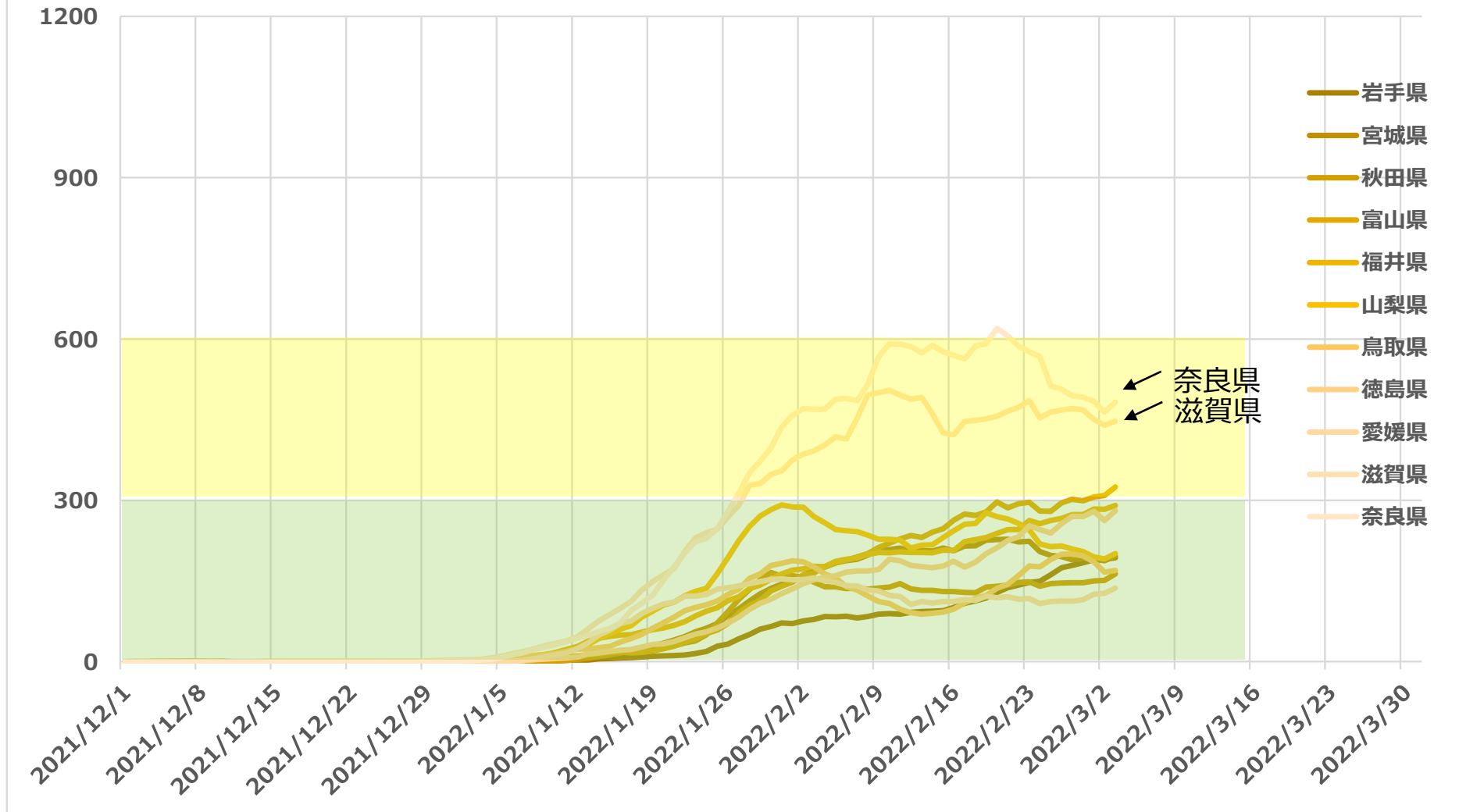
47都道府県の新規感染者数(人口10万当り1週間)の推移



47都道府県の新規感染者数の推移です。概略で直近に横ばい状態に入ったと読めます。。以降は
の第6波の部分についてのまとめです。

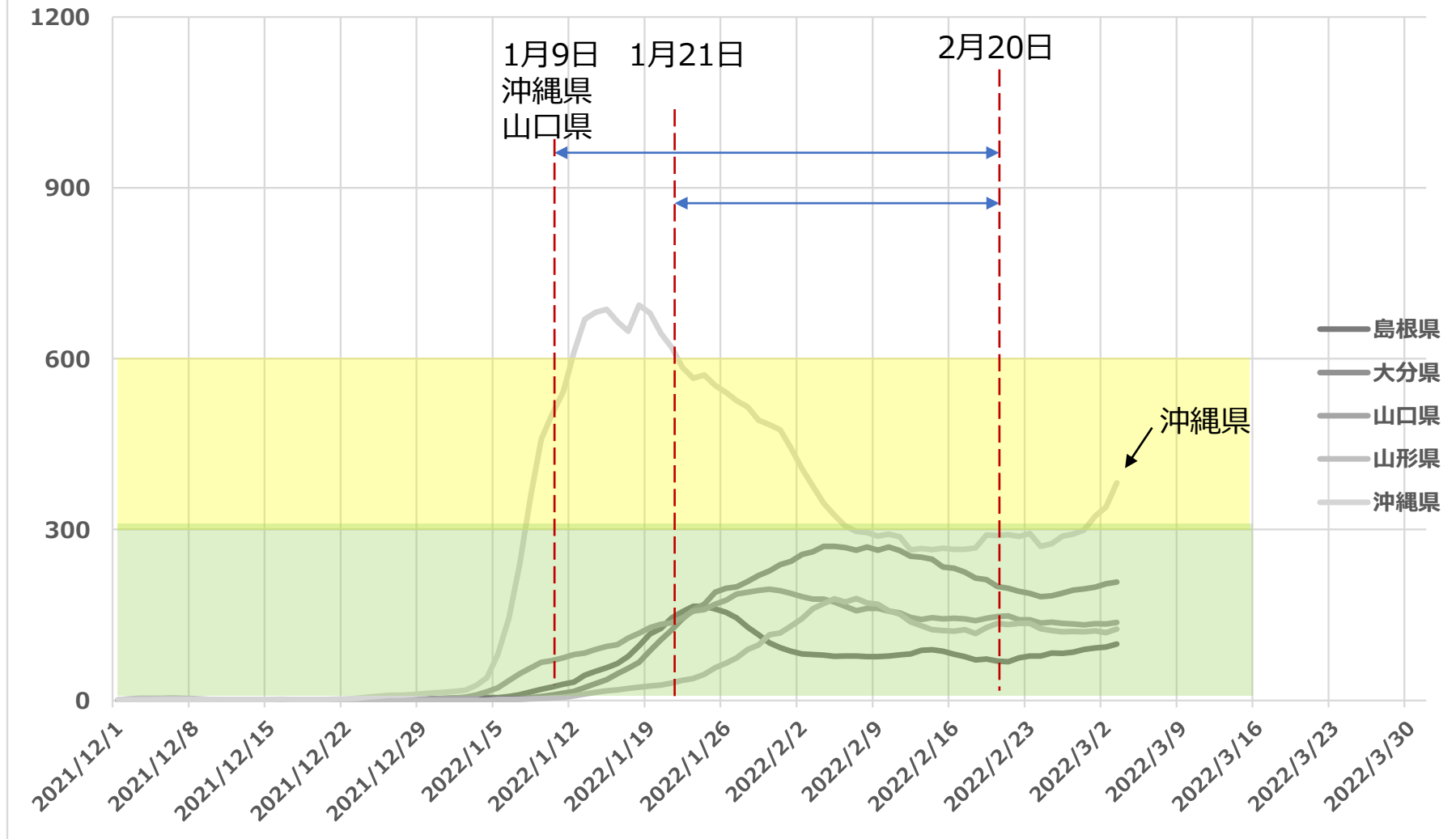
④グループ

まん延防止等重点措置非適用の11県



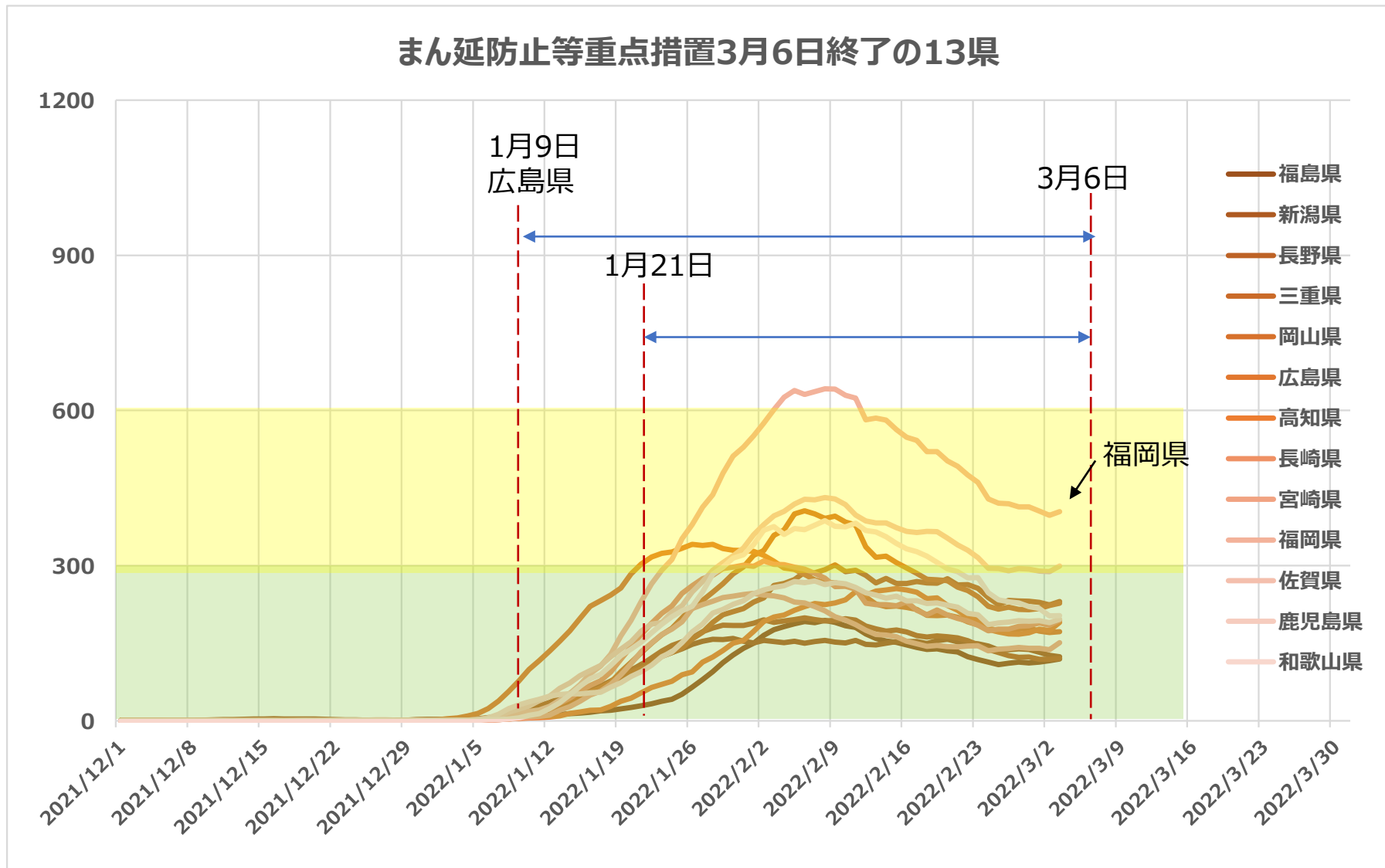
奈良、滋賀は横ばい状態、残る9県は緩徐に増加傾向・・・と読めます。

まん延防止等重点措置2月20日終了の5県



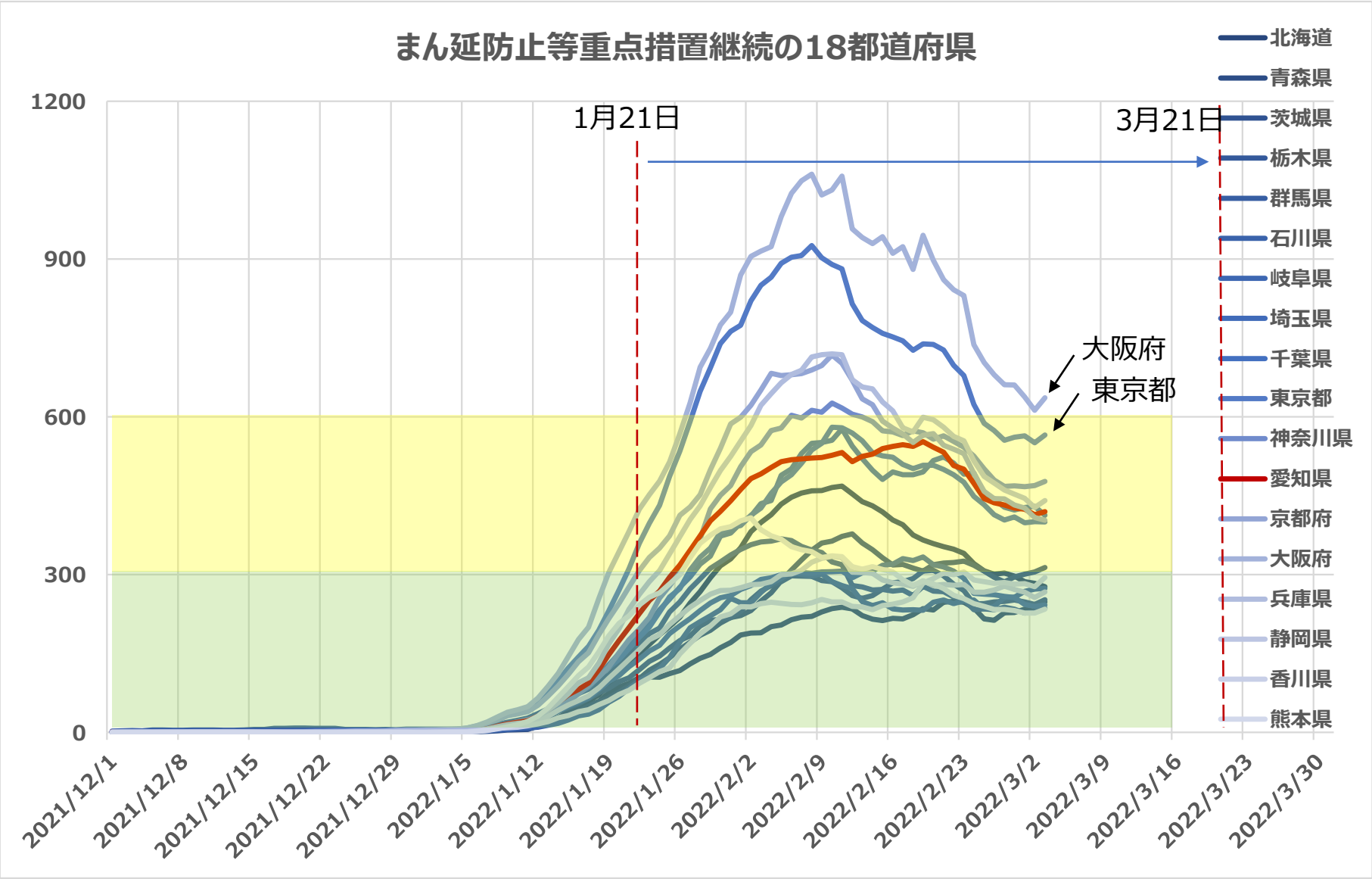
解除後は横ばい状態、沖縄県は再増加で「賭け」に失敗でしょうか!?

②グループ



横ばい状態なのですが…。流行の規模が小さいためでしょうか?!注目は「賭け」に出た福岡県です。

①グループ



流行の規模が大きいためでしょうか?!概略で直近は横ばい状態です。

「まん延防止等重点措置」の調整の実態を検討してみました。確保病床使用率なども考慮した調整と説明があるかもしれませんが、第139報でレポートしたように確保病床使用率は恣意的な操作が入り込む指標です。

今回は47都道府県は「こんな状態」とまとめてみました。どうも「まん防」だけではダメですね……。解除しようが、延長しようが、横ばい状態から脱するには「きりっとした」対策が望まれます。私見は10歳未満の感染対策、及びブースター接種の加速がキーと考えています。